

坏各三本余藤原兼實前四本但追居云々殿上人座懸盤二脚各兼居飯

〔調度歌合〕三番 左

たかつき

戀すてふ我うき名のみたかつきにもりし泪ぞくひてかひなき

樽名稱

〔倭名類聚抄十六〕樽 辨色立成云樽音與尊同字亦作樽從缶見

〔箋注倭名類聚抄四〕按說文云尊酒器也又載尊字云尊或从寸徐鉉曰今俗以尊作尊卑之尊別

作樽非是廣韻亦云尊從土從缶從木後人所加源君云見說文者誤略○中 按周禮司尊彝六尊有著

尊注著尊著地無足則尊亦有無脚者

〔干祿字書平聲〕樽樽上通下正

〔事物紀原八〕樽樽上通下正

禮運曰禮之初始諸飲食汗樽而杯飲注云鑿地爲樽此樽名始也後世或以瓦木爲之取諸此也至

有虞始又以泰名樽

四樽

禮明堂位曰泰有虞氏之尊也山巒夏后氏之尊著商尊也犧象周尊也此四代之制也

〔下學集下〕樽樽上通下正

〔東雅十一〕樽樽上通下正 倭名鈔漆器之類に辨色立成を引て酒樽有脚酒器也字與尊同又作樽今按無

和名俗稱去聲と注せり尊はもと銅器也倭名鈔すでに漆器となし後人讀みてタルといひし事

並に其義不詳後俗また樽の字を用ひて酒器となし讀むこと樽に同じ樽はもとこれ籩楚之籩

て讀む事垂の如くにして酒器の名にはあらず其字木に从ひ垂に从ひぬるによりて借用ひ

〔倭訓栞前編十四〕たる 足をよめりらりるれろにて用けり垂も足と義通へり樽も酒を垂の義

成べし榼も同じよて後俗榼字をも用うれど榼は籩に同じ酒器にあらず二合の意をとる也倭